

茨城県地域医療支援センター

～無限の可能性に向けて～

茨城県では、若手医師の皆さんが県内の医療機関で充実した勤務を過ごしながら自分の希望に応じたキャリアアップが図れるよう、平成 24 年 4 月から若手医師の皆さんをサポートする「茨城県地域医療支援センター」を設置しています。

地域医療支援センターでは、地域医療のために必要な手技から最先端の高度医療まで、若手のうちに学ばべき知識や経験を取得できるよう、医師である教育インストラクターが主体となった各種研修会を開催するなど、県内の医療機関や県医師会、筑波大学をはじめとした医科大学が一体となって、若手医師の皆さんを支援していきます。

■ 茨城県地域医療支援センターの主な取り組み

○ 総合相談窓口の設置と情報発信

県内医療事情の紹介や相談など総合相談窓口の設置

○ 医学生・医師のキャリアアップ支援

各種セミナー、研修会の開催

○ 地域枠医師等のキャリア形成支援・派遣調整

キャリアコーディネーターとの個別面談によるオーダーメイドのキャリアパス作成・提示、専門医・認定医の取得支援、医師不足地域の病院等への派遣調整・あっせん等

○ 指導医の養成と研修体制の整備

指導医の養成、地域医療に従事するために必要な技術取得のための研修会等

■ 茨城県地域医療支援センターの主な医師向けキャリア形成支援制度

初期研修医合同研修会

【期 日】平成 30 年 4 月 17 日（火）

【場 所】茨城県庁

【内 容】茨城県内の病院で臨床研修を開始する全ての初期研修医を対象に、県の医療政策や各種研修支援制度等について案内するとともに、交流の機会を提供します。

救急ライセンス研修 (BLS、ACLS)

初期臨床研修医を対象とする、日本 ACLS 協会の AHA (アメリカ心臓協会) 公認プログラムによる救命処置研修

PTLS 講習会

外傷初期診療に焦点をあて、救急医療に携わる医師等を対象にした総合診療能力を養成するためのトレーニングコース

エコーハンズオントレーニング

超音波装置の簡単な使い方、ハンズオン、症例提示などに関する研修会

JMECC 講習会

緊急を要する急病患者に対応できるよう、日本内科学会が各ガイドラインに基づいて推奨している救急蘇生講習会



■ 教育回診事業

- 著名な講師が医療機関を巡回し、実際の症例をもとにしたケースカンファレンスやベッドサイドでの教育研修を実施します。
- 対象者：院内の研修医をはじめとした医師等



■ 海外派遣事業

県内で勤務する医師の能力向上のため、海外の医療現場に一定期間派遣します。なお、派遣期間中の経費は県が負担します。

短期

- 【内 容】 指導医の指導能力向上のため、世界標準の先進的な指導及び教育に取り組んでいる米国へ派遣します。
- 【対 象】 県内の40歳以上の医師
- 【人 数】 5名程度
- 【期 間】 10日間程度



中期

- 【内 容】 優秀な若手医師を育成し、地域医療水準の高度化を図るため、欧米等の医療現場へ派遣します。
- 【対 象】 県内の医師免許取得後概ね10年以内の医師
- 【人 数】 5名程度
- 【期 間】 1～3か月



長期

- 【内 容】 優秀な若手医師を育成し、地域医療水準の高度化を図るため、欧米等の医療現場へ派遣します。
- 【対 象】 県内の医師免許取得後概ね10年以内の医師
- 【人 数】 2名程度
- 【期 間】 1～2年間

■ シミュレーショントレーニング事業

- 地域において政策的医療を担う病院を中心に、SimMan3Gや超音波診断ファントム、アキュタッチシステムといった最先端のシミュレーション機器を巡回させて、トレーニングをする機会を提供します。
- ※ 各事業の日程については、決定次第、地域医療支援センターホームページに随時掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

茨城県地域医療支援センターホームページ

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/jinzai/ishikakuho/isei/ishikakuho/top/>



■茨城県地域医療支援センターの組織・スタッフ体制

全県一丸となって若手医師をサポートします。

地域医療支援センター組織図

